

横浜市こども・子育て基本条例に基づく
令和7年度のこどもの意見表明に関する取組状況について

1 趣旨

横浜市こども・子育て基本条例（令和7年4月1日施行、以下「条例」という）第14条の規定に基づき、令和7年度の下水道河川局における、こどもの意見表明に関する取組状況等について報告します。

2 条例における位置づけ

条例において、こども・子育てに関する施策を推進するに当たっては、こどもが、社会を構成する一員として、その年齢及び発達に応じて、意見を表明する機会を確保し、その意見を施策に反映させるよう努めること、こども・子育てに関連するあらゆる分野における施策を講ずるに当たっては、こどもの視点を重視するよう努めること等が市の責務として位置付けられています。（第5条）

また、市長は、毎年、こども・子育てに関する施策へのこどもの意見の反映の状況等について、市会に報告することとされています。（第14条）

今回報告する取組の範囲は、施策・事業・取組への反映を主な目的として、アンケートやワークショップ、会議、意見公募、インタビュー・ヒアリングなど、こどもから直接意見を聴いているもののうち、次の内容に該当するものとしています。

- 本市（指定管理者・委託事業者を含む）が主催・共催している
- こども・若者（未就学児から20代程度まで）が意見を聴く対象に含まれている
- すべての市民等を対象とする取組については、こども・若者から意見を聴くための工夫を行っている

（例）・難しい漢字や用語を使わずに、一般向けとは別に、こども・若者にわかりやすく書かれた資料を使っている
・特にこども・若者に特化した広報PRを行っている

4 下水道河川局の取組状況

取 組 ①	帷子川の今後の河川水辺環境を考える小学生とのワークショップ 【河川流域整備課／旭区区政推進課、土木事務所】	
取組内容	帷子川の良い河川水辺環境を保全・創出するための計画策定にあたって、川の近くに位置する旭区内の小学校3校（上川井小学校、都岡小学校、鶴ヶ峯小学校）の児童約200名とワークショップを実施し、帷子川の将来像に関する子ども達の意見を聴取した。	 A group of children wearing yellow safety vests and red helmets are working in a river. They are using tools like shovels and nets to clean up the riverbed. The river is surrounded by green vegetation and a concrete wall.
対 象	小学5年生（約200人）	
実施時期	【各校3回実施】 1回目：令和7年6月 2回目：令和7年7月 3回目：令和7年12月～令和8年1月	
主な意見と活用方法等	帷子川の将来像について、「川で水遊びをしたい」「魚取りをしたい」「水辺を散歩したい」など、自然との触れ合いや川の利用に関する幅広い意見が寄せられた。 こども達の意見をもとに整理した「生物」「景観」「利用」「親水」「安全」の5つの視点を、帷子川の河川環境整備計画に反映した。	

4 下水道河川局の取組状況

取 組 ②	阿久和川まほろば地区の河川水辺環境の再整備を考える小学生とのワークショップ 【河川流域調整課／泉土木事務所】	
取組内容	阿久和川まほろば地区の河川水辺環境の再整備に向けた計画策定にあたって、川の近くに位置する泉区内の小学校2校（岡津小学校、新橋小学校）の児童約100名とワークショップを実施し、阿久和川の将来像に関する子ども達の意見を聴取した。	
対 象	小学3～4年生（約100人）	
実施時期	【各校3回実施】 1回目：令和7年10月 2回目：令和7年10月～11月 3回目：令和8年3月	
主な意見と活用方法等	阿久和川まほろば地区の将来像について、「川の生き物を増やしたい」「きれいな川にしたい」「水辺で休憩したい」など、自然環境や景観、川の利用に関する幅広い意見が寄せられた。こども達の意見をもとに整理した「自然」「景観」「安全」「地域」「利用」の5つの視点を、阿久和川まほろば地区の河川環境再整備計画に反映した。	



4 下水道河川局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
1	帷子川の今後の河川水辺環境を考える小学生とのワークショップ	河川流域整備課 旭区区政推進課、 土木事務所	小学5年生 (約200人)	【各校3回実施】 1回目：令和7年6月 2回目：令和7年7月 3回目：令和7年12月 ～令和8年1月	将来の帷子川のあり方について、「川で水遊びをしたい」「魚取りをしたい」「水辺を散歩したい」など、自然との触れ合いや川の利用に関する幅広い意見が寄せられた。 こども達の意見をもとに整理した「生物」「景観」「利用」「親水」「安全」の5つの視点を、帷子川の河川環境整備計画に反映した。
2	阿久和川まほろば地区の河川水辺環境の再整備を考える小学生とのワークショップ	河川流域調整課 泉土木事務所	小学3～4年生 (約100人)	【各校3回実施】 1回目：令和7年10月 2回目：令和7年10月 ～11月 3回目：令和8年3月	将来の阿久和川まほろば地区のあり方について、「川の生き物を増やしたい」「きれいな川にしたい」「水辺で休憩したい」など、自然環境や景観、川の利用に関する幅広い意見が寄せられた。 こども達の意見をもとに整理した「自然」「景観」「安全」「地域」「利用」の5つの視点を、阿久和川まほろば地区の河川環境再整備計画に反映した。
3	河川事業に関する理解促進や水防意識の向上を目的とした小学校向け出前講座におけるアンケート	河川流域調整課	小学生 (約500人)	・令和7年6月6日 ・令和7年6月24日 ・令和7年8月19日 ・令和7年9月3日 ・令和7年11月12日 ・令和7年12月5日	「川の魅力だけでなく、危険性についても学ぶことができてよかった」という回答が多く寄せられた。 アンケート結果は、今後の河川事業の広報や水防活動の啓発に活用する。 また、より子ども達の興味を引き、印象に残る学習内容となるよう、出前講座の充実にも活用する。

4 下水道河川局の取組状況

	取組名	所管課	対象	実施時期	主な意見と活用方法等
4	大規模商業施設で実施した子ども向けの河川事業広報イベントにおけるアンケート	河川流域調整課	主に小学生を対象 (約200人)	令和7年7月29日、30日	市内の河川に対するイメージとしては「楽しい」「生き物がいる」といった回答が、河川の利用目的としては「散歩」「水遊び」「生き物観察」「花の鑑賞」といった回答が多く寄せられた。 引き続き、様々な機会を捉えて、子ども達を含む市民の河川利用の状況等を把握し、今後の川づくりに活用する。
5	横浜市の下水道事業を広く知ってもらうため、「親子の下水道教室」を開催し参加者から意見徴収	施設管理課	横浜市在住の親子 (約160人)	令和7年7月～8月	「楽しかった。」「微生物を見ることができてよかった。」「汚水がきれいになっていくのが面白かった。」「時間と工程をかけて処理することに驚いた。」「SDGSにつながるといった。」などの意見が集まり、次回以降の、より分かりやすい説明方法や新しいコンテンツの検討に活かしていく。